

## 22年度決算、事業報告などを原案通り可決、承認

国保連合会通常総会



本会通常総会は、8月5日（金）、国保連合会に37保険者の代表が出席して開かれ、平成22年度事業報告、一般会計、各特別会計歳入歳出決算ほか諸議案を原案通り可決、承認した。

橋本理事長（城陽市長）は、挨拶の中で「平成22年度事業は、事業計画に基づきおおむねの目的を達成することができた」として、府や各保険者の協力に感謝した。また、国保総合システムの早期改修や、診療報酬の審査支払業務委託について国保連合会と支払基金のどちらにも保険者により委託できる相互乗入れがなされるなか、保険者のニーズに沿った事業展開ができるよう努めたいと述べた。

山口府高齢社会対策監の挨拶のあと議事に入り、議長に舞鶴市の多々見市長を選出した。議事録署名人には精華町の木村町長並びに府酒販国民健康保険組合の森理事長を選任した。

議案は、平成22年度報告承認事項5件、平成23年度議決事項11件、同年度報告承認事項1件、同年度報告事項3件で、事務局の説明、監査結果報告のあと、いずれも原案通り可決、承認した。閉会挨拶は宮北副理事長（京都料理飲食業国民健康保険組合理事長）が行った。

